

「建築プランナー」がつくった 糖屋都在住ノYさんの住まい ウッドデッキの中庭を囲んで 家族みんなが輪になる住まい

マホガニー色した木の格子が、白い外壁を優しく引き締める。一見シンプルな四角い箱型の住まいだけれど、じつは中庭を囲んでコの字型をしているYさんの住まい。家中どこにいたって夏は涼しく、冬はあったか。光と風にあふれた一年中気持ちのいい快適空間です。

「棟まる」と暖房システムで
寒い冬でも目覚め爽やか

ウッドデッキを敷いた中庭が、家中のどの部屋の窓からもよく見える。「家族みんながこの中庭を気に入っています。子どもたちだけで遊んでもいい、この設計なら料理を作りながら、その様子を確認できるので安心なんですよ。」

どこにいても家族の存在をすぐ近くに感じていられる。それが「建築プランナー(株)二級建築士事務所」(以下・建築プランナー)の住まいのひとつの特徴だ。

「建築プランナー」にYさん夫妻が住まいの相談をしたのは、2年ほど前で経営している「ことと、同社」ならではの「棟まる」と暖房システム」が気に入ったという。

「私はすごい冷え性なんですけど、暖房器具を使うのは嫌いなんです。ずっと、冬でも暖かい家に住みたかった。建築プランナーさんのこれまでの施工例を見学に行った時、どの家も本当に暖かくて驚きました」もちろんY邸も「棟まる」と暖房システムを取り入れている。空間を必要以上に壁で仕切ることなく自由に設計できるのも、このシステムがあるおかげだ。Yさん一家の同居は昨年10月。間もなく訪れた冬、ブルブルと震えるはずの朝も、家の中はあったか。「気もち良く起きられたのがとてもうれしい」と奥さま。一日の始まりはいつも、晴れやかで清々しい。

白い外壁にマホガニーの格子を取り付け洗練された印象の外観。両辺を季節の花や緑に囲まれたY邸



ステップを取り付けて視界が変わるのを楽しむ2階。右上は娘さんの遊び場だ



「パーベキューができるような中庭がほしい」という要望から生まれたウッドデッキの中庭。60年代の北欧家具が似合うリビング(左上)と和紙の畳敷いた和室(右上)



中庭を出てすぐのところに設けられた家庭菜園。いろんな野菜がたわわに実る



バスルームへと続く洗面所は木の質感を生かした造作。大きな鏡が正面の窓からの光を集める



いずれは2部屋に分けることもできる2階の子ども部屋。吹き抜けの天井を通して1階の様子もよく分かる。右手前に小さなロフトがあり、そこが娘さんお気に入りの遊び場。本当はお父さんの隠れ家にしたかったそう

珪藻土の塗り壁は
お父さんの力作

外の道路からは1階部分にタテに細長い窓しか見当たらないY邸。けれど、中庭に面している窓が余裕の大きさだから、家の中はいつも光で満たされている。室内の壁は白い珪藻土の塗り壁。そのほとんどをご主人が塗ったと聞いて驚いた。「できるところはなるべく自分の手で作らせてくださいってお願いしたんです。中庭のウッドデッキや壁も僕が塗りました」とご主人。

毎日時間が許す限り現場に出かけ、他の職人さんたちと一緒に作業をしたのだという。「本当に楽しくて。建材の特徴や家の構造も分かって、とても勉強になりましたよ」と充実の笑顔。作業が終わり、家に近づくと深まっていったそうだ。

檜の無垢材を敷いた1階のフロアはフラットで家事動線が良く、子ども

たちが走り回っても安全。一方、杉材を敷いた2階は視界が変わるステップフロアを生かした遊びが感じられる空間に。窓辺や階段のコーナーには奥さまが見立てたカラフルな雑貨がセンス良くディスプレイされている。「この家で暮らし始めてから、私も家の中で遊ぶ時間が多くなりました。家事もまったく苦にならない(笑)。料理のレパートリーも増えたり、友達と一緒に子育ても楽しんでいます」と奥さま。庭にはご主人のお母さまが丹精込めて育てる家庭菜園も。「娘はここで採れた野菜が大好きなんですよ」。4才になる娘さんは、今日も採れたてのきゅうりをまるかじり。やがて聞こえてきた元気の良い笑い声はウッドデッキの中庭に響き、青空へと抜けていった。

私の
小さな
場所

【キッチン】

中庭からの光が届いていつも清々しいキッチン。「ここから眺める中庭の風景が気に入っています。中庭を作って本当に良かった」と奥さま。ダイニングとの対面式で3~4人が一度に集まって調理をしても余裕の広さ。お友達とのお菓子づくりも楽しそうだ



COMPANY DATA

建築プランナー株式会社

福岡市南区和光4-3-3

受付時間

TEL 092-512-3931

ホームページ

www.kpkp.co.jp

詳しい情報は
45ページに掲載